

平成29年度鹿児島学習定着度調査の結果

鹿児島市立天保山中学校

本年1月17日・18日に実施された「平成29年度鹿児島学習定着度調査」の県及び市の結果が公表されました。今回本校の結果と比較したものをお知らせします。この調査は、県内の生徒の学力の定着について、客観的なデータの把握・分析を行い、学力向上に資する目的で行われています。本校でもしっかり分析して、今後の指導に役立てていきます。

平成29年度 鹿児島学習定着度調査の結果

●本校 ○県

教科	領域等	1年				2年											
		本校	県	市	40	50	60	70	本校	県	市	40	50	60	70	80	
国語	基礎・基本	72.8	67.9	70.0					71.4	68.4	69.1						
	思考・表現	55.0	57.6	60.5					57.6	53.3	55.2						
	全体	67.9	65.1	67.4					67.3	63.9	64.9						
社会	基礎・基本	67.1	59.3	61.1					79.2	62.1	63.3						
	思考・表現	50.2	39.4	40.7					42.0	45.3	45.6						
	全体	62.1	53.4	55.1					68.2	57.1	58.1						
数学	基礎・基本	67.4	67.7	69.5					69.0	66.8	67.7						
	思考・表現	52.3	50.6	52.9					47.8	44.5	46.0						
	全体	63.1	62.8	64.8					61.7	59.0	60.2						
理科	基礎・基本	65.2	59.4	61.8					56.4	56.4	57.1						
	思考・表現	49.7	46.5	49.9					22.1	28.7	27.2						
	全体	59.6	54.7	57.5					44.1	46.4	46.3						
英語	基礎・基本	70.1	68.3	71.7					63.0	64.4	67.6						
	思考・表現	62.1	55.8	60.1					52.6	52.5	55.3						
	全体	66.8	63.2	67.0					59.0	59.8	62.8						

[通過率から]

- ・ 1年生(現2年生)は、全ての教科において県の平均を上回っている。
- ・ 2年生(現3年生)は、国語、社会、数学は県の平均を上回っているが、理科と英語は下回っている。
- ・ 1年生、2年生ともに、昨年までと同様に「思考・表現」に関して課題が見られる結果となったが、「基礎・基本」の定着についても改善を図っていく必要がある教科も見られる。

[今後の取り組み]

- ・ 各教科において、通過率の低かった問題を定期テストや単元テスト等の作問に生かしたり、土曜授業を活用して類似した問題を繰り返し解かせたりして定着を図る。
- ・ 少人数指導やTT指導による授業を活用して、授業中の学習の定着を図る。
- ・ 日々の家庭学習を90分以上取り組めるように、個別の支援や家庭との連携を強める。
- ・ 4月実施のNRTの結果とも併せて分析し、本年度の定着度調査や各種テストに成果を反映する。